



-大きな日傘のクラブハウス-

KENSO competition

現在この敷地には、中央に小さな屋根付きのベンチが設置され、数本の樹木が植えられている。日陰が少ないためテントを設置しギャラリーや競技者の休憩時に利用しているが、大半の利用者が日陰に入る事が出来ない。関係諸室の室内的機能は当然のこと、陽射しを遮り多くの利用者が集い、休め、交流や観戦の出来る施設が必要と考える。

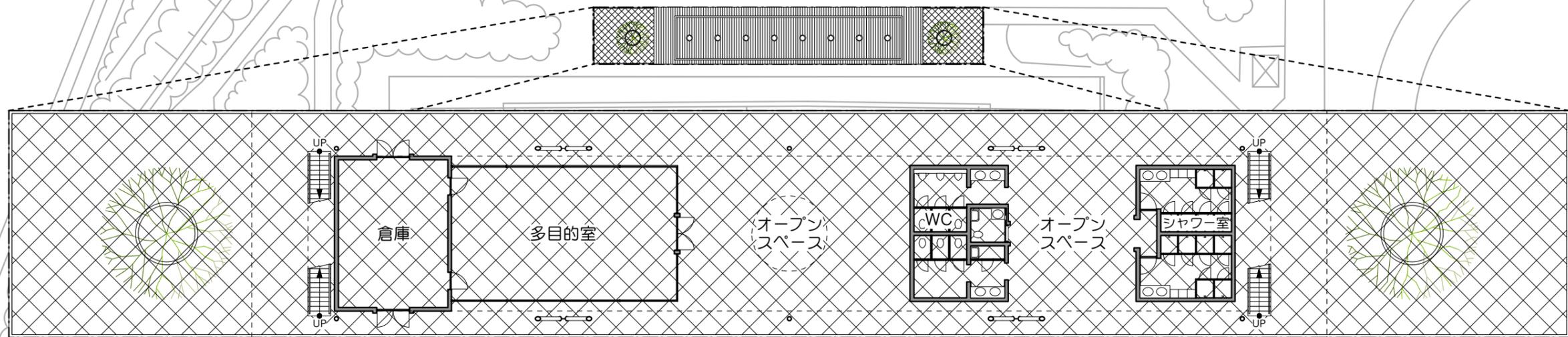
地上レベルにはガラス張りの多目的室の他、関係諸室を配置、2Fレベルは競技場を見渡せる大きな庇のかかった開放的な観覧デッキとした。観覧デッキは8m×48mの大空間で、その上部の12m×57mの大屋根が施設に陰をおとす。

この日傘に包まれた半戸外空間は多少の雨天時でも使え、利用者が自由に集え、幅広い使い方が出来る多目的空間である。

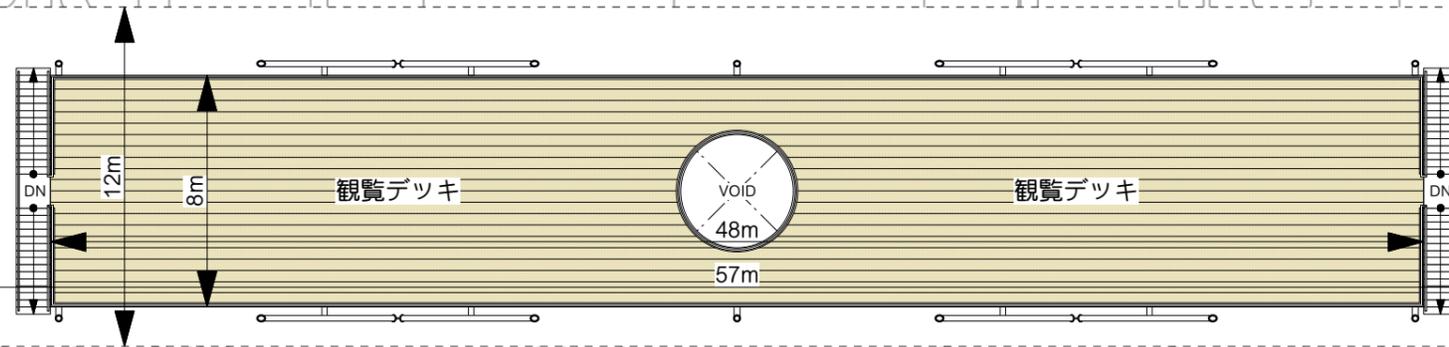
便所・シャワー室・倉庫の壁は観覧デッキを支える構造コアで、外周の鉄骨フレームは観覧デッキと大屋根を支える単純明快な構造である。各室の配置は自由に検討出来き、壁を建てる事で室内の増築も可能である。鉄骨フレームを長手方向に延長すれば建物全体の増築も容易で、将来的な改修にも対応できるフレキシブルな施設となる。

年中温暖な沖縄は屋外スポーツの会場や育成の場として大きな可能性を秘めている。これまで、野球のキャンプ地を中心に多くの競技団体が沖縄に訪れているが、施設が整ってゆけば他スポーツの誘致も進み、競技人口も増えてゆくだろう。

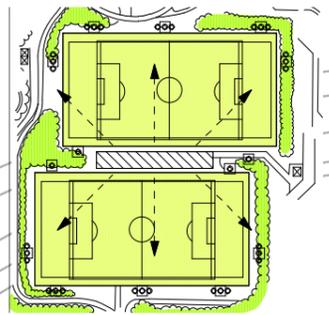
これから増々盛り上がるであろうスポーツ競技の若い人材育成の為に将来を見越し、沖縄らしい競技場・附属施設のあり方を考え、そのモデルケースをここから発信したい。



1階平面図



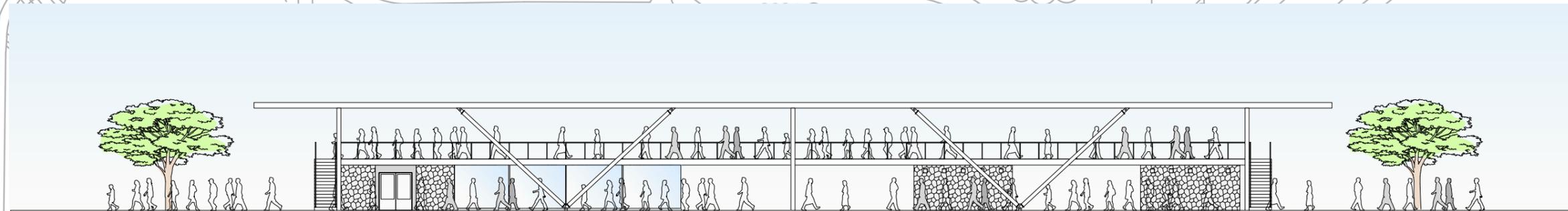
2階平面図



観覧デッキから競技場全体が見渡せる。



多くの利用者は日陰の中に入れない。



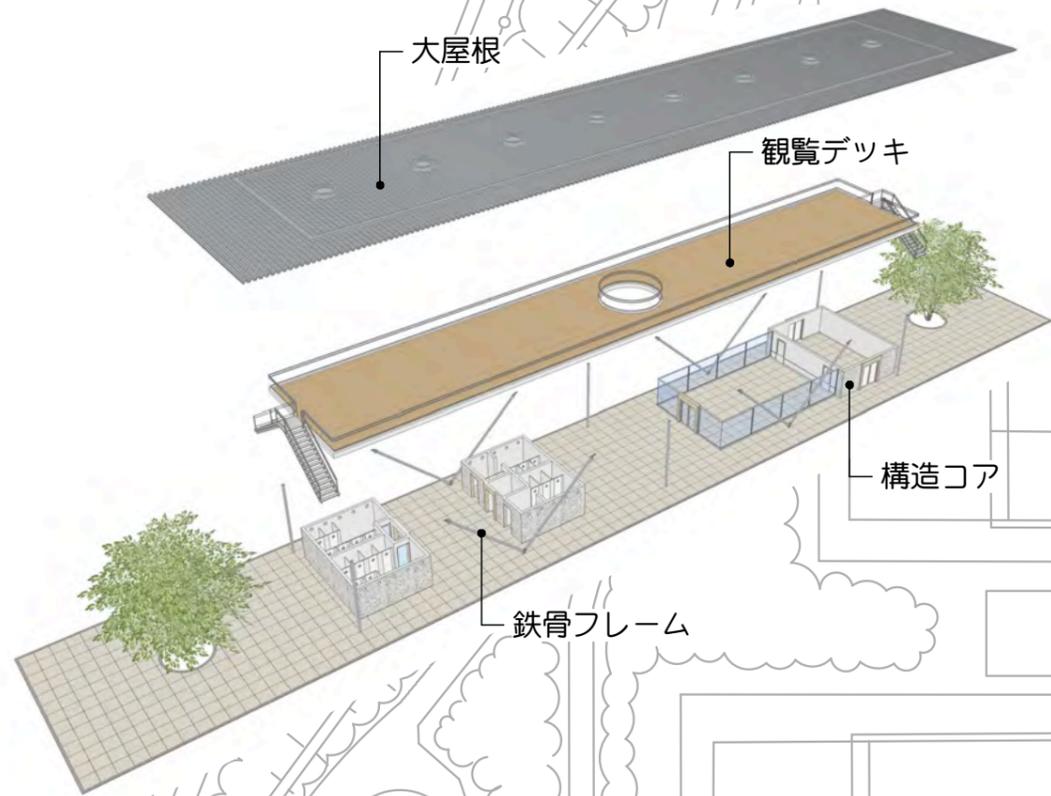
西側立面図

0 1m 5m 10m



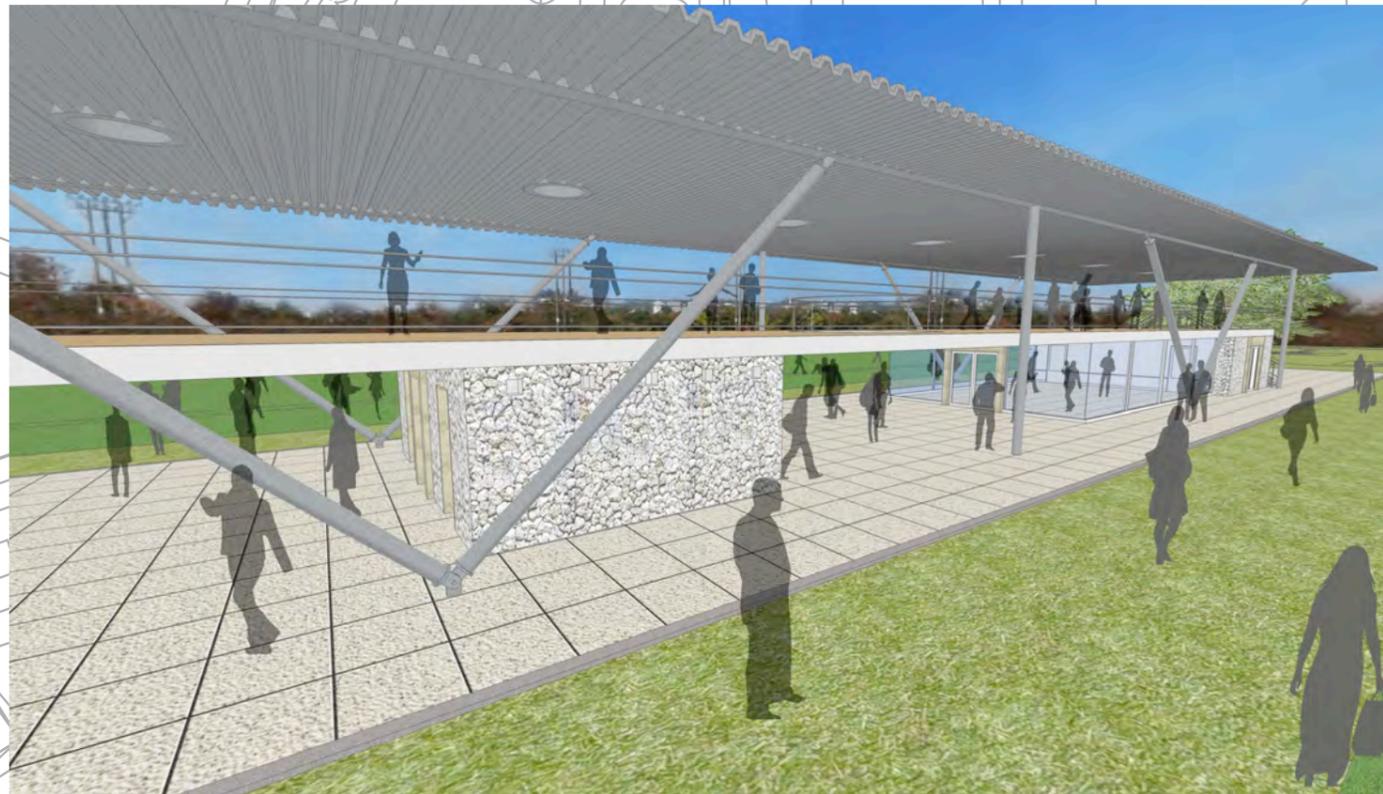
-大きな日傘のクラブハウス-

KENSO competition



地上レベルは構造コアとなる諸室を設け、2階レベルの観覧デッキは構造コアと外周の鉄骨フレーム、大屋根は鉄骨フレームにより支えられる単純明快な構造である。また、将来的な増築も容易である。

利用者を大きな日傘で包み込む。風の通り抜ける心地よい空間は、競技者やギャラリーの交流の場となるほか、催しや集会等、様々な使い方が考えられる。



外壁面には県産材の琉球石灰岩を張る。ガラス張りの多目的室は建物を開放的に見せることで、大きな施設の圧迫感を和らげる。

庇の下のオープンスペース・観覧デッキは自由に使えるフレキシブル空間である。何処からでも見通せるので施設管理も容易である。